

エコカーガイド

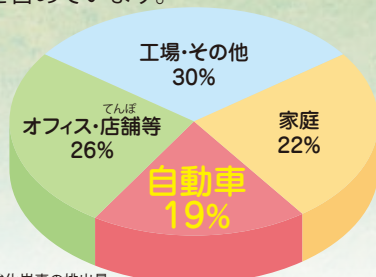


上：プラグインハイブリッド自動車（三菱／エクリプスクロス PHEV）
下：燃料電池自動車（トヨタ／MIRAI）

なぜエコカーが必要なの？ ～自動車から見た環境問題～

車によるCO₂排出量が多い

名古屋市内のCO₂排出量のうち、自動車からの排出量は約1/5を占めています。



令和3年度 二酸化炭素の排出量
1,271万トン/年（出典：名古屋市 温室効果ガス排出量の調査結果）

車から排出される大気汚染物質

自動車から排出される窒素酸化物や硫酸酸化物は、大気汚染の原因の一つで、健康被害も心配されます。また、自動車は微小粒子状物質(PM2.5)の発生源の一つでもあります。

★窒素酸化物(NOx)

物を燃やした時、空気中や燃料中の窒素から発生し、ぜんそくの原因になると言われています。

★微小粒子状物質 (PM2.5)

空気中に浮遊する非常に細かい粒子の総称。肺がん、ぜんそくなどへ影響を与えられているとされています。

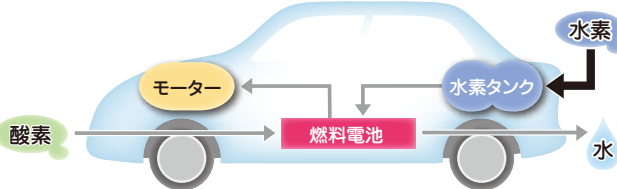
自動車からのCO₂や大気汚染物質を減らすためには、環境にやさしいエコカーが広まっていくことが大切です。

ゼロミッション車ラインナップ

「ゼロミッション車」とは？

水素を使って発電した電気エネルギーや、バッテリーに蓄えた電気エネルギーを使って走る自動車のことです。走行時にCO₂や大気汚染物質を排出しない「環境にやさしい自動車」です。走行中の音が小さいのも特長です。また、発電した電気や蓄えた電気を取り出して使えるため、災害時にも活躍します。

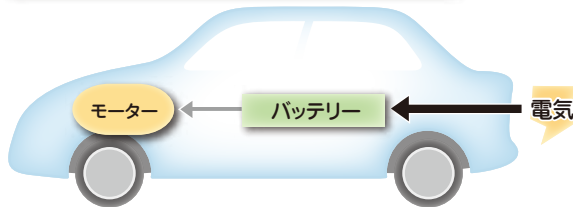
燃料電池自動車 (FCV・FCEV)



トヨタ / MIRAI

水素と空気中の酸素を、燃料電池という装置で化学反応させ、発電した電気でモーターを動かして走る自動車です。走行時に排出するのは水だけで、CO₂や大気汚染物質を出しません。走行距離が電気自動車と比べると長く、長距離の移動もできます。

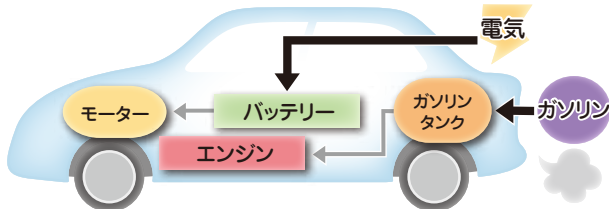
電気自動車 (EV・BEV)



日産 / サクラ

バッテリーに充電した電気でモーターを動かして走る自動車です。走行時にCO₂や大気汚染物質を一切出さず、モーター音もとても静かです。ガソリン車と比べて構造が簡単なため、小型化した自動車も開発されています。

プラグインハイブリッド自動車 (PHV・PHEV)



三菱 / アウトランダー PHEV

ハイブリッド自動車に充電用プラグを搭載し、バッテリーに充電できるようにした自動車です。充電した電気をを使って走行する時は、CO₂や大気汚染物質を出しません。電気を使い切ってもガソリンで走行できるので、電気の残量を気にせず長距離の移動ができます。

エコカーの豆知識

充電スポット (電気自動車・プラグインハイブリッド自動車)

商業施設やコンビニ、自動車販売店、高速道路のサービスエリアなど、外出中に充電できる場所が増えています。急速充電設備であれば、およそ30分で充電できます。



水素ステーション (燃料電池自動車)

水素ステーションでは、燃料となる水素を約3～5分で充填することができます。水素ステーションの数はまだ少ないため、整備を進めることが重要な課題です。



©岩谷産業株式会社

